



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成30年 5月 9日



団体名 木曾町
職 氏名 木曾町長 原 久仁男



木曾町は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	木曾町温水プール 自然エネルギー導入事業
取組の主体	木曾町
取組の区域	木曾町
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	—
団体設立年月日	— 年 — 月 — 日
普及する自然 エネルギーの種別等	太陽光発電 木質バイオマス (チップボイラー)
取組の目的	太陽光発電や木質バイオマスボイラーの導入により、環境対策とエネルギーの地産地消による雇用創出や地域内経済循環を目的に自然エネルギーの普及啓発を行う。
地域関係者との協働 の内容	木曾福島自治協議会・木曾町環境協議会等による太陽光発電のデータ収集・分析等により、山間地における自然エネルギー管理や研究を行う。 町内林業事業者・木曾町環境協議会、再生可能エネルギー活用推進プロジェクト会議等による地域資源循環型コミュニティ・フォレストリーの推進を図る。
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他(場作りなど)
取組(事業)の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階
取組の内容	木曾町温水プールは、町中心街の賑わい創出と木曾地域住民の健康増進を目的とした体育施設として、平成29年7月にオープンしました。 【木質チップボイラー】 施設建設に伴い、プール温水の加温、給湯及び館内暖房の熱供給として灯油と木質チップのハイブリッド方式の熱供給(チップボイラー稼動6割以上)を行うことで、化石燃料使用量を削減し、木質バイオマス熱利用の拡大を図る。この取組みにより、カーボンニュートラルな特性を生かしたCO ₂ 排出削減、環境負荷軽減が図られ、地球温暖化防止に貢献できる。 チップ燃料の供給には、蓄積量の増した町内の森林資源を積極的に活用し、森林整備により生じる間伐材や林地残材など未利用資源の有効活用とバ

イオマス燃料供給拠点施設を整備し、雇用創出と安定的なチップ燃料供給、森林整備の促進を図る。また、未利用材の活用により木材の新たな付加価値を生み出し、6次化産業、地域間連携、政策連携による新たなビジネスモデルの構築による山村地域の再生と活性化に貢献することが期待できる。

- 平成28年度 長野県産材供給体制整備事業補助金（繰越事業）
- 平成29年7月 完成・供用開始
- ボイラー最大熱量 464,400kcal/h (540kw)

【太陽光発電】

太陽光発電設備を導入し、再生可能エネルギーの有効利用を進めると共に、停電時や災害時の電力確保を図ります。また、LED照明などの省エネルギー化による環境対策と併せ、耐震、防災対策を積極的に取り入れた公共体育施設とし、多くの町民が自然エネルギーに接し、理解を広げられる場となることが期待されます。

- 平成30年3月 完成・稼動開始
- 発電出力 20kw

事務局担当者の 連絡先	担当者所属	町民課 環境政策室	氏名	松田 博之
	TEL	0264-22-4281	email	Kankyo_ct@town-kiso.net
ホームページ	http://kisopool.jp/			
備考				

- ※1) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。
- ※2) 記入欄が不足する場合は、必要に応じて適宜広げて記載してください。
- ※3) 添付書類として、①組織規約・構成員名簿（市町村不要。）、②具体的な取組内容が分かる資料（スキーム・ホームページ掲載用の写真）、③その他参考資料を添付してください。

